

# 教育子午線

Kyoiku-Shigosen



国立大学法人  
兵庫教育大学

February, 2017

vol.43



©教育最前線

## 兵教大の女子力

男女が共に学び、働き、輝くために。

# 「女子力」と 男女が共に生きていく力

現在の社会問題を根源的に考えれば、多くは「少子化」という課題に直面します。平成28(2016)年の出生数はついに100万人を割り、今後十数年で18歳人口は20万人近く減少します。本学の立場からいえば、「少子化」による小・中学校の統廃合、学級数の減少、それに伴う教員採用数の減少があり、何よりも将来、教員を目指す教員希望者が減少します。少子化をくい止めるための必要な要素は3つです。①国・行政主導の先導的な取り組み(育児休業の拡大と弾力化等)、②自治体あるいは民間参入による安価で高品質の保育所・こども園等の拡大と整備、③男性自ら育児・家事に関わること。まだ「男性は仕事、女性は家事・育児」という昭和の男性側の勝手な妄想が、民間企業だけでなく公務員の一部にも残っているような気がします。調査によると、20歳代前半の女性の就業率は他国と比較してもあまり変わりませんが、20歳代後半から30歳代になると急に減少するそうです。育児のために女性が仕事を辞めるという状況は、優秀な女性の活躍場所を失い、明らかに日本社会の損失です。

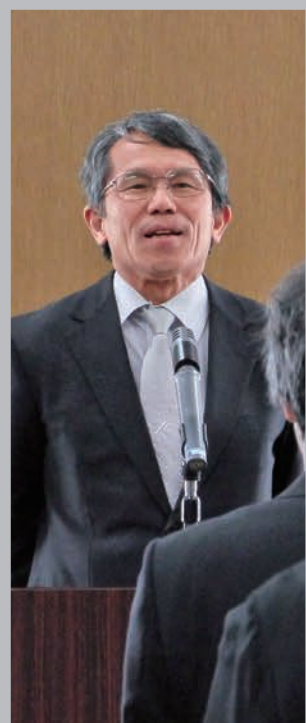
本学でも「兵庫教育大学男女共同参画推進基本方針」を策定し、積極的に取り組みを行っています。子育て中の教職員への支援、アフタースクールの拡充、附属幼稚園における預かり保育等を実施しています。まだまだ取り組みは十分ではありませんが、少しでも女性の活躍と少子化対策に役立てばと考えています。

さて、「女子力」という言葉があります。様々な定義、感覚で捉えられています。あまり良くないイメージを抱く女性も多いようです。男性が家事をてきぱきこなすと「女子力」が高いというようですが、これには私は違和感を持ちます。家庭においては男女がそれぞれの特性を生かし、お互いを尊重して家事を工夫することが求められます。育児も同様で、夫婦が工夫して協力することが必要です。教科でいえば衣食住や保育を扱う家庭科では、誰もがよりよい生活をしていく上で必要な知識や技能を教わります。中学校や高校では男性の家庭科教員は極めて少ないですが、小学校では家庭科を教えている男性教員はたくさんいます。自らの生活体験を日々の学校活動の中に生かすことによって、男女が協力することの大切さを子供たちに伝えて欲しいものです。

本誌では、女子力を「女性が輝き、活躍する力」として定義しています。これからも、この女子力が男性の積極的参加によって発揮されることで、男女が共に学び、働き、輝く大学となるよう取り組んで参ります。

学長 ふくだ みつひろ 福田光完

学長室から  
MESSAGE





# 兵教大の女子力

## 男女が共に学び、働き、輝くために。

人によって異なる定義で捉えられている少々厄介な言葉、「女子力」。このたびの教育最前線では、「女性が輝き、活躍する力」として定義します。そして「女子力」が発揮されることで、男女が共に学び、働き、輝く大学を目指している兵教大。「女子力高い！」兵教大の取り組みをご紹介します。



かとうひさえ  
**加藤久恵**

小学校教員養成特別コース准教授  
男女共同参画推進室室員

ふじなみよしこ  
**藤浪芳子**

昭和精機株式会社代表取締役会長  
兵教大経営協議会委員(副議長)

姫路市生まれ。昭和56(1981)年昭和精機代表取締役社長、平成28(2016)年から現職。神戸経済同友会副代表幹事、兵庫県行財政構造改革審議会委員など公職多数。21年神戸市産業功労者、24年関西財界セミナー賞「輝く女性賞」、日刊工業新聞「女性経営者賞」、25年兵庫県功労者表彰などを受賞。

ふくだみつひろ  
**福田光完**

学長

### 特別鼎談

「女子力」は、大学を、社会をどのように変化させ、輝かせることができるでしょうか。昭和精機株式会社代表取締役会長で本学経営協議会副議長の藤浪芳子さんをお迎えし、「自身の経験を伺うとともに、兵教大の、そして教育現場における「女子力」の在り方について、福田光完学長、本学男女共同参画推進室室員の加藤久恵准教授と語り合っていました。

### 女性が働き、輝くために 社会に期待すること

**福田** 今日はお忙しいところ、お時間を取っていただきありがとうございます。藤浪さんには平成23(2011)年度から本学の経営協議会委員として、また現在は副議長として、本学の運営に参画していただいているのですが、以前から、ぜひともお話を伺いたいと思っていました。最初に「女性が働き、輝くために、社会に期待すること」、また日頃考えておられることについてお聞かせいただけますか。

**藤浪** 経営者の方々とお話をすると「女子学生の方が優秀だ」と皆さんおっしゃいます。では、社会に出て、なぜ女性が力を発揮できないのか、ここが一番問題だと思えます



ね。兵教大の場合は、卒業後は教員になられる方が多いと思います。が、では学校の先生になったときに、ジェンダーの良い面を生かしながら、本当にその能力を発揮できているのかなというところを、問題意識として持っています。

**加藤** 藤浪さんからご覧になって、社会で働く上で、男女の差があると思われるのはどういう所でしょうか。

**藤浪** 女性が十分に能力を発揮できていないという問題点の一つは、いろんな経験をさせるにも雇用側は男性を中心にしてしまい、女性は後回しになっているのではないかと思います。もう一つは女性自身の意識ですね。出産・育児という男性にはない役割を逃げて道にしてしまう、あるいはその役割を完璧にこなした上で男性と同じような仕事を求められると挫折してしまふ、ということではないでしょうか。その解決のためには「ワークライフバランス」ですね。一番大事なのは家庭での役割分担。家族の協力がなければ、仕事と家庭の両立はできません。そして雇用側の女性に対する応援、それから行政の

サポートです。「女性が働く上での問題は、女性の問題」ではなく男性の意識の問題であると皆さんに理解していただきたいですね。

**加藤** むしろ男性教育ということですね。そうすると、同じように働くべきなのかどうか。「女性らしさ」というものを考えてしまいますね。

**藤浪** 何を「女性らしい」と見るかですが、社会に限って言いますと、「視点が違う」。常々、行政に対して言っているのが「女性に関するルール・制度を、なぜ男性だけで決めるんですか」ということ。女性のために「してやっている」みたいなルール・制度ではなく、男女両方の視点で世の中の仕組みをつくっていくということが大事です。

### 仕事と子育てを両立するために必要な条件とは

**福田** 職場では、上司の評価や周りの様子などをつい気にしてしまうものですね。例えば育児休業を取りたくても、上司や周囲からの否定的な反応を予想してしまふとか。日本の男性の育児休業取得率はとても低いのです(※1)。そういう男性の心理が職場の体質をつくってきたのではないのでしょうか。でも、今の若い世代はそうではなくて、家庭を大事にする人が増えてきたというのがうれしいですね。

## 教育最前線

### 特別鼎談

1 教員を目指して共に学び、語り合う学部生たち。 2 秋光恵子教授(学校心理・学校健康教育・発達支援コース)ゼミの様子。子どもたちが認め合い助け合う学級づくりなどを研究しています。 3 大学で働くお母さん、大学院で学ぶお父さんの姿を見つめながら、子どもたちはすくすくと育っています。



**藤浪** うちの会社では小学1年生のお子さんを持つパートタイマーの勤務時間は4時間。お子さんが成長するにしたがって勤務時間を1時間ずつ増やしていき、子育てが落ち着いたから正社員になってもらいます。女性も男性も、体力や置かれた環境などそれぞれ違いますから、企業は、一人一人に合わせた働き方を提案するべきです。行政はそれをバックアップする。そして一番大事な家庭を、男女が協力をしてつくっていくというのが、私がいま理想とする形です。

**加藤** 雇用側は、一人一人に合わせたオーダーメイドの働き方を用意するのが一番大事ということですね。

**藤浪** そうですね。私は採用面接の際には必ず「会社より家庭を大事にしないさい」と話します。家庭を疎かにして会社で仕事だけでも幸せにはならないと思います。家庭の事情で休まれることが多いですから、人員配置など雇用側の負担はもちろん大きいのですが、バックアップするのが役割だと思っています。また、女性にも自分も経済活動を担っていると意識をしっかりと持っていたいただきたいです。

**福田** 教員の場合、自分の子どもと勤務校の卒業式が重なった場合、少し前なら勤務校を優先するのが当たり前とする雰囲気でしたが、いまは自分の子どもの方を優先する

先生方もいます。卒業式や入学式は人生の大切な節目ですから、それを見ておきたいですし、子どもにとっても親が来てくれるのはうれしいものです。また、男性教員がフルタイムで育児休業を取るケースが少しずつ増えてきています。比較的若い教員は、家庭重視の意識が芽生えている気がします。最近のニュースにありましたが、保育園を設置しようとすると、子どもの声がかかるという住民から反対の声が上がるということが起こっています。いまや働く親にとって保育園はなくてはならない施設です。少子化の原因の一つが保育園や子ども園が身近にないことなのですよ。お互いが納得のいく良い解決策がないものでしょうか。このニュースは非常にシヨックでしたね。

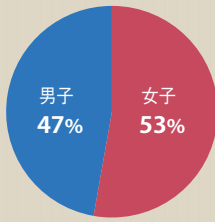
**藤浪** うちの社員の例ですが、二人いるお子さんの保育園の割り当てが別々になってしまったということがありました。仕事の方は彼女の状況に合わせて勤務時間の調整をしましたが、2カ所への送迎の負担が大きくて結局辞めてしまいました。これは行政の側の問題です。このような仕組みのままでは、教育を受けて働く意欲を持っている女性の芽を摘むことになりません。そして、子どもを産まなければ、今度は少子化の問題が出てきます。これは悪循環です。

**福田** そうですね。少子化の影響を

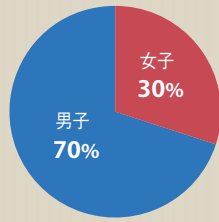


## ◎数字で見る兵教大の男女比率データ

学生の男女比



教職員の男女比



### 学生

	女子	男子
大学院学校教育研究科 (修士課程)	55%	45%
大学院学校教育研究科 (専門職学位課程 [教職大学院])	32%	68%
大学院連合学校教育学研究科 (博士課程)	47%	53%
学校教育学部 (初等教育教員養成課程)	60%	40%
合計	53%	47%

### 教職員

	女子	男子
役職者	25%	75%
大学教員	24%	76%
附属学校教員	40%	60%
事務職員	33%	67%
全体	30%	70%

※いずれも平成28年5月1日現在

## ◎男女共同参画推進室

平成21年12月25日、兵庫教育大学における多様な人材の公正な参画を推進するため、役員会の下に男女共同参画推進室を設置しました。

### これまでの取り組み状況

#### ▶「本学の男女共同参画にかかる施策に関するアンケート」を実施しました

女性教職員が能力を十分に発揮するとともに男女が働きやすい職場環境を確保するため、兵教大に在職する役員・全教職員404人を対象に、27年7月に意識調査を実施。その結果などを基に、学内の就業環境や職場風土の改革を進めています。

#### ▶本学独自の産・育児支援制度を制定しました

子どもを養育中の教員に対して、夜間授業の負担を軽減するほか、学内で保育を提供したり時間外保育料を補助したりしています。

#### ▶「ハラスメント防止研修」を実施しました

28年12月26日、学内の人権委員会との共催により、教職員を対象に、(株)ハーモニークリエイション代表取締役の白石恵美子さんを講師に迎え、「ハラスメント防止研修」を実施しました。男女が共に協力して生き生きと学び、働く大学を目指し、今後も年1回のペースで実施していく予定です。



「考えると、われわれ教育系の大学でも子育てのこともっと理解し、支援していかないとけません。しかし、教員研修などでも今日私たちが話しているこのようなテーマはあまり話題になっていないと思うのです。やはり意識が足りないのでしょうか。」

**加藤** 藤浪さんが話されたような、女性が個々のニーズに応じて働くことができる職場はまだまだ少ない。大学では、私たちも比較的融通が利

く勤務形態ですが、子どもは急に熱を出したりします。でも、当日になって授業を休講にすることもできないですし、休みにくいものです。

**藤浪** うちの会社では、お子さんの急病やけが、学校の行事などさまざまなかで状況でやむを得ないときには休んでいただいています。子育てが大変なのは、ほんの少しの間のことですから。私は、専業主婦で自分の手で子どもを育てていた時に、急に働かざるを得なくなった。その時の子どもに対する「申し訳ない」と思った気持ちが母親応援につながっています。

**加藤** ありますね、そういう気持ちは。

**藤浪** そういう気持ちにならない

ような仕組みにできれば。人生の、その時々で働き方に強弱をつけながら、しっかりと働いてほしいですね。

**女性管理職の存在が後進たちの後押しに**

**福田** 国立大学においても、文部科学省が目標値を定めていますが女性教員比率はまだまだ低い(※2)。若手になるほど女性の比率は高くなっていくのですが、管理職になると低いですね。

**藤浪** みんながみんな管理職になる必要もないのですが、「先輩女性が頑張って管理職として働いている。私もあんなふうになりたい」という手本となる女性の存在が必要です。ま

た、女性の悩みに耳を傾け、聞いて問題解決をする「先輩」女性の存在が必要だなと思いますね。

**加藤** そうですね、選択肢となる、いろいろなモデルの女性や男性ですね。

**福田** 確かに校長や教頭が女性だったら、女性や若い先生方は、年齢が離れていても相談しやすい、モデルにしたいと思うのではないのでしょうか。教育現場の管理職の方々とお話をすることも多くありますが、日本は女性管理職が本当に少ないと思います。海外では逆に男性の方が少ないくらいです。

**藤浪** うちの会社では、私がロールモデルです(笑)。いま、70歳ですけど

※1 育児休業者割合：女性81.5%、男性2.65%(厚生労働省平成27年度雇用均等基本調査より)  
 ※2 国立大学の女性教員比率：14.7%(平成26年5月1日現在)  
[http://www.janru.jp/active/tx16-2/201502houkoku\\_01.pdf](http://www.janru.jp/active/tx16-2/201502houkoku_01.pdf)

どね。「私を見てね、こんなふうにも頑張りましょう。ついてきてね」と言っています。これからも、女性をもっともっと活躍してくれるためにお手伝いをしていきたいですね。



## 男女共同参画推進室から



なすかわともこ  
**名須川知子**

理事・副学長  
男女共同参画推進室室長

OECD（経済協力開発機構）の国際比較（2016年）によると、わが国の教育投資における公的負担はGDP比でOECD平均を下回る一方、私費負担割合が特に大きいとあります。中でも女子教育については多大な私費負担にもかかわらず、それで得る国や個人の利益は同様の条件の男性の7分の1であり、費用対効果における男女差が最も大きいということが報告されています（「図表で見る教育 OECDインディケータ（2016年版）」明石書店より）。つまり、質の高い教育を受けてきた女性が、その学びを十分に生かせる社会構造に

なっていないということです。これは、子育て支援をめぐる整備や管理職の少なさといった社会進出での格差によるものであり、結果、国の深刻な少子化を招き、税制にも影響しています。

本学の男女共同参画推進室では、「女子力」を引き出し、男女共に力となっていく「方策」を考えています。楽しく充実した人生に寄与するため、特に子育てについて、父親の育児参加を目指しています。下の写真のように、子育てをしながら仕事をすることはもちろん、学ぶ環境を整えるため、附属幼稚園の預かり保育、アフタースクールの充実を図っています。

## 学びと仕事を支える「兵教大の子育て支援」

加東キャンパス山国地区にあり、地域や附属学校園と連携して教育研究活動に取り組む拠点施設「やまくにプラザ」等では、次のような子育て支援を展開しています。



↑土曜日開催のGENKiの様子。パズル制作など、親子で参加できるイベントも



### 子育て支援ルーム「GENKi」

文部科学省特別経費プロジェクト採択事業「大学の機能強化としての就学前教育専門職養成の高度化と幼小連携を含めた総合的カリキュラム開発」の一環として開設。乳幼児の健やかな発達を育むために、「社会で子育てしよう」という試みを行っているところです。原則週3日、未就園児とその保護者に無料で開放しています。

#### 利用実績（26年10月～29年1月）

利用登録	利用者数	開室日数
508組	5,910組	259日

### 附属幼稚園預かり保育

学び、働く保護者の支援と、附属幼稚園の園児に保育時間後等のふさわしい過ごし方を提供することにより、園児の健やかな成長を促すことを目的として、平成28年度から実施しています。

#### 利用実績・予定数

28年度	29年度
12人	16人

→預かり保育の園児たちの様子



↑アフタースクールで遊ぶ子どもたち



↑学習スペース

### アフタースクール

学び、働く保護者の支援と、附属小学校の児童に放課後等における生活・学習指導の実施、また異学年の児童と一緒に活動することで社会性を育むことを目的としています。

#### 許可者数

26年度	27年度	28年度
37人	40人	50人

※延べ人数。夏休みアフタースクール等の許可者を含まない





なかむら ななこ  
**中村菜々子**

臨床心理学コース  
准教授

中村先生は現在、育児休業中。  
母親として、研究者として新たな  
発見の毎日を過ごされています。

このページでは日本学術振興会の科学研究費助成事業による助成を受けた研究を紹介し、同助成事業は、全ての分野の「学術研究」を格段に発展させることを目的に、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究などに分かれており、基盤研究は、一人または複数の研究者が共同で行う研究が対象。研究期間は3～5年です。

# 研究レポート

## 労働者のストレスに対するセルフケア実施を阻害・促進する認知的要因に関する研究

(平成24～26年度科学研究費助成事業・基盤研究Cに採択) ※延長申請手続きにより、平成27年度まで研究延長

**ス** トレスが働く人の健康に悪い影響を及ぼすことは広く知られていますが、何らかの対策を行っている人は少ないのが現状です。私たちは「ストレスを過小評価する傾向(ストレスの存在や悪影響を認めようとしない傾向)」に注目して研究を行っています。この傾向が強い人は「自分はストレスに強いのだから何もしなくて大丈夫」と自分の対処能力を過信する、「何がストレスなのか分からない」と体験したストレスを感じ取りにくい、「ストレスについて考えたくない」とストレスと向き合うことを避ける、あるいは「ストレスはあるが、誰にでもあるものだから何もしなくてよい」と考えがちであるために、有効な対策を取らなかつたり有用な情報に関心を持たなかつたりする可

性能があります(「図1」の上の人)。研究ではこの傾向を測定し、1年後のメンタルヘルスとの関係を分析しました。また、メンタルヘルスの情報を提示し、その情報をどのように読み取るのかを

研究結果の一つを紹介しました。【図2】の状況は、本来なら病院の受診など何らかの対応を取るべき状況です。しかし、ストレスを過小評価する傾向が強い人はそうでない人よりも「この状況は問題ない」「この状況を放っておいても、その後自然と元気になる」と判断しやすいことが分かりました。研究課題の知見を基に、私たちは現在、過小評価傾向が強い人の考えに変化を与えるようなメッセージの伝え方を検討しています。わが国では、働く人のメンタルヘルス状態をチェックし結果を返却してセルフケアを促すことや、研修会での情報提供が行われています。この際に、研究成果を応用してメッセージの伝え方を工夫することで「ストレスやメンタルヘルスの問題は、自分の健康にとって大切なんだ」という認識を高めてもらうことができると考えています。

【図1】研究で想定しているモデル

**ストレスの存在を知らせるサインやメンタルヘルス向上に役立つ情報**

例えば…

- ストレスチェックの結果  
「あなたはストレス得点が高いです」
- 各種症状を体験  
「最近よく眠れない」
- 職場で実施されたメンタルヘルス研修



ストレスの存在やストレスの悪影響を認めない傾向が強い人

「ストレス得点が高い? 皆ストレスあるでしょ。眠れない時は誰でもあるさ」

→ 何もしない  
→ 情報は無視



ストレスの存在やストレスの悪影響を認めない傾向がそれほど強くない人

「ストレス得点が高いのか。確かに最近、寝付きが悪いよな…」

→ 何かしなければと思う  
→ 情報をしっかり聞く

【図2】研究で提示したストレス状況

Aさんは30歳です。Aさんは、この数週間、これまでに経験したことがないほどの悲しみと不幸を感じています。Aさんはいつも疲れているのに、ほとんど毎晩よく眠れないでいます。食欲はなく、体重が減ってきています。Aさんは仕事のことを考えられず、あらゆる決断を先延ばしにしています。日々の勤めさえ、もはや自分の手に負えないように見えます。Aさんの上司もこれに気付き、Aさんの業績が落ちたことを気遣っています。

## この先生にズームイン

### 趣味と研究を兼ねて

漫画やアニメは、現代社会の常識を測る指標の一つとして、幅広いジャンルを常にチェック。特にまっているのがドラマ化され話題を呼んだ漫画「逃げるは恥だが役に立つ」と、テレビアニメ「おそ松さん」だそう。ちなみに、今回の衣装はおそ松さんとサマーソニックのコラボTシャツと、自作のコート。



### うれしかったこと

高校生の頃から小沢健二さんの「超特大ファン」で、現在も常に追い掛けている。昨年は大分県立美術館で開かれた特別ライブに当選し、ステージの近さに感激したそう。写真は、そのツアーTシャツと、別のツアー時のグッズ。どちらもレアもので、ライブには当然身に付けて臨む。



### ふるさとの味

故郷・長崎でだしといえば、トビウオを原料にしたあごだし。「東京や関西のものもおいしいですが、やっぱり基本はあごだしですね。落ち着きます」。家には必ずストックしているという。



## 先生に質問!

**A** 家族の在り方は、時代とともに大きく変化していきま  
す。教員は何十年もの間若  
い人たちを相手にし続けるわけ  
ですから、自分の経験に基づいて考  
えてしまうと、現状からとんとんず  
れていくことが予想されます。また、  
兵教大の学生は親との仲が良い人  
が多い傾向にありますが、現実には  
そうでない子どもたちもたくさんい  
ます。家庭科には家族にまつわる分  
野も含まれるので、そうした児童生  
徒たちとの接し方や教員としての  
在り方を学び、教員になった後も常  
に最新の情報をキャッチし時代に即  
した対応ができる力を身に付けて  
ほしいと思います。

**Q** 授業を通じて学生たちに  
学んでもらいたいことは。

**A** 基本的にはアンケート調査  
などで、一番長く携わって  
いるのは青少年の性行動調査  
です。70年代から6年置きに実施  
されてきたもので、私が6代目。90  
年代半ばまでは婚前交渉への忌避  
感が強かったのですが、以降はそ  
うではなくなり、結果として恋愛や結  
婚への考え方が大きく変わりました。  
このように、追跡し続けることで社  
会の変化が見えてきます。

**Q** どうやって変化を調査する  
のですか。

**A** 1990年代以降、未婚化  
や晩婚化といった日本が経  
験したことのない状況の中  
で、若者の結婚や家族に関する考  
え方、行動などがどのように変化し  
ているかを調査研究しています。

**Q** 先生のご専門は。

### 今一番のお気に入り

秋に購入したドイツ製のスライサー。イベリコ豚の生肉を塊で購入し、シャットとスライスしてしゃぶしゃぶでいただくのがブーム。さすがに買う時は躊躇したそうだが、「めっちゃ買ってよかった!!大変おいしい、生きる糧です」と愛用している。



### もはやライフワーク

日本最大規模の野外音楽イベント、フジロックフェスティバルに初期から毎年通っている。東京在住時には、「あまりに楽しくて」運営のボランティアスタッフとしても活躍していた。一番の魅力は「いくつものステージが同時進行する中、どう過ごすかを自分で工夫できる楽しさがあるところ」という。



なが た な つ き  
**永田夏来 助教**  
生活・健康・情報系教育コース

長崎県出身。平成16(2004)年早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程を修了。成蹊大学文学部非常勤講師、明治大学大学院情報コミュニケーション研究科講師、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構の主任研究員などを経て25年から現職。研究分野は家族社会学と生活経営学で、現代日本における結婚観や家族観の変化、夫婦関係の調査・分析を専門としている。授業は「家庭科教育法」(学部)、「家庭と文化・社会」(修士課程)などを担当。

## Q&A



# 同窓生からの手紙

兵庫県出身。平成28(2016)年学校教育学部生活・健康系コース(家庭分野)を卒業後、加西市内の質茂幼児園で教諭として勤務。現在4歳児クラスの担任を務める。



よしだ あかり  
**吉田朱里**さん  
加西市立質茂幼児園教諭

## 実習で得た経験が 今に生きています

### 子

子どもの笑顔が大好き！卒業して、加西市内の園で働かせていただいてもうすぐ1年。新しいことの連続で新鮮な毎日ですが、子どもたちが「幼児園、楽しい！」「明日も行きたい！」と笑顔で園生活を送るにはどうすればよいかと日々悩むことばかりです。

そんなときは、学生時代に実習で学んだベテランの先生方の、泣いている子どもへの声の掛け方や関わり方、クラス活動の導入の方法等を思い出し、実践してみます。そして、子どもがバツと笑顔になつたり喜んでくれたりしたとき、また、保護者の方が「喜んで園に行つてます」と教えてくださるときに、実習で得た経験に感謝するとともに、幼稚園の先生になつて良かったと感じます。



←みんな大好き絵本の時間

# LETTERS FROM OB & OG

徳島県出身。平成23(2011)年に修士課程幼年教育コースを修了。在学中はおやじの会について調査研究を行い、修了後も全国のおやじの会の人々と交流を持ちながら研究を続けている。28年4月から現職。



しみずけんじ  
**清水憲志**さん  
姫路市立中央保育所保育士

## 元気いっぱいの子どもたちと 共に笑い楽しく過ごしています



→子どもたちの表情を見ながら、抑揚をつけ、間を取りつつ絵本を読んでいます

**保** 育士として採用されて4年がたち、今年度は3歳児を担当しています。

在学中には同じ志を持つ院生の仲間と保育について語り、一つ一つの物事を探求していました。また、研究がきっかけで出会ったおやじの会の方々には、社会人としてのいろはや人と出会うことの面白さ、それぞれの得手不得手なことを仲間として支え、互いに高め合う姿も見せてもらいました。修了後も再会するたびに初心に帰らせてくれる大事な居場所。いろいろな仲間から、たくさん

ことを教えてもらいました。その経験を糧に、保育所では保護者とも積極的に関わり情報交換をしながら子どもへの育ちにとってより良い援助ができるように努めています。

子どもとの関わりは楽しいです。日々の忙しいや手立てがうまくいかず悩む時もありますが、子どもたちの笑顔に力をもらい、何気ない一言に笑い、表現する姿や友達とのやり取りの内容に「子どももつてすごい」と教えられています。保育者として子どもとの時間を大切に、関われる幸せを感じ大切に過ごしたいです。

### ▶ 同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

#### 大学院同窓会会員と大学教員との共同研究の申請(募集要項を一部変更しています)

大学院修了生と大学教員とが共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成28(2016)年度は10件を採択しました。なお、今回から募集要項を一部変更し、新規の方が申請しやすいようにしています。詳しくは、Hyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。◎申請締め切り 4月30日◎

#### 教育実践研究活動等に係る表彰者の推薦

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も受賞にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会関東大会(東京都)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。なお、昨年度から実施要項を一部変更し、幅広く推薦ができるようにしています。詳しくは、Hyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。◎推薦締め切り 3月31日◎



## Data

活動場所／体育棟ダンス室  
 活動日(曜日)／月・水・金・土  
 部員数／男子12人 女子7人  
 顧問／森田啓之准教授  
 設立年／昭和57(1982)年



全国教育大学卓球選手権大会での様子。左から、柴田さん、佐藤さん



卓球部みんなで支え合ってこそその勝利を祝う!

# クラブ紹介 卓球部



(左から)福岡麻衣さん、柴田茉奈さん、岡村真帆さん、岩田彩佳さん、佐藤真衣さん

## TABLE TENNIS CLUB

**卓球部は  
こんなクラブです!**

男女一緒に活動しており、いつも楽しく練習をしています。他の教育大学と比べて、大学から競技を始めた人が多いことが特徴です。全教や県国公、リーグ戦のような大学が集まる試合だけでなく、三木市や西脇市、加西市などの地域の試合にも参加しています。

### 創部以来初の快挙!

昨年8月に開かれた全国教育学芸大学卓球選手権大会で、卓球部が設立されて以来初めてとなる団体優勝、そして個人戦優勝(現役女子の部)ということのでうれしい限りです。これを励みに他の大会や来年に向けてより一層練習に励んでいきたいと思いますので、これからもどうぞ応援よろしくお願いします。

### 紹介者

卓球部女子主将  
 おかむら まほ  
**岡村真帆さん**  
 学校教育学部  
 自然系コース3年

**【成績】**  
 第56回全国教育(学芸)大学卓球選手権大会  
 ▼現役女子団体の部優勝  
 ▼現役女子個人の部・優勝  
 柴田茉奈さん(学校教育学部総合学習系コース1年)

## 課外プロジェクト紹介

### プロジェクト名

**加東市秋のフェスティバルにおける  
創作ブース**



↓(左から)豊田さん、山本さん、播田さん



↑加東市秋のフェスティバルでの創作ブースでの様子

### 交流しながら創作できる機会を提供

10月29日、「加東市秋のフェスティバル」の会場に「海」が現れました。これは、会場内で初めて出会った子どもたちが心と力を合わせて、帆布のキャンバスいっぱいに描いたものです。企画したのは学校教育学部学校教育系コース3年の山本樹さん、豊田洸輔さん、修士課程教育コミュニケーションコース1年の播田茜さんの3人。地元加東市のイベントで「子どもたちが楽しく交流しながら創作するブース」を提供したいと考え、課外プロジェクトに応募し、採択されました。

青空の下、歓声を上げながら真っ白なキャンバスに海を表現する子どもたちの姿に、山本さんは「これからもこのような子どもと親、地域の人々が交流できる場を提供できれば」と意気込みを語りました。

### プロジェクト名

**「災害食」知ろう! 作ろう! 広めよう!  
プロジェクト**



←三木市の防災訓練での災害食ポランティアの様子



↑(左から)永見優衣さん、三輪遥香さん、蒲原有紀さん、山本真子さん、小林さん、前田まどかさん、西窪玲衣さん、松原大貴さん

### 「食」をテーマに防災教育の活動を展開

修士課程行動開発系教育コース2年の小林裕子さんを中心に9人で結成した「防災トライ部」。常温保存できる食材を日常的に消費しながら捕い、災害時には耐熱性ポリ袋とカセットコンロを利用して調理する「災害食」を広める活動をしています。大学院生と学部生のメンバーが力を合わせて取り組んでおり、これまで大学祭や地域の防災訓練等で試食や展示を行ってきました。その様子は新聞やテレビでも紹介され、視聴者等から大きな反響を得ています。

間もなく修了・卒業のメンバーもいますが、「これからも防災教育を考える拠点として活動していきたい」と志を新たにしています。

【防災トライ部】 <https://www.facebook.com/bosai.tribe/>



## ストレスマネジメント教育プログラムの作成およびその効果の検証

—養護教諭が関わる保健教育の視点から—

○佐々木かよ子<sup>1</sup>・藤原忠雄<sup>2</sup>

(兵庫教育大学大学院学校教育研究科<sup>1</sup>・兵庫教育大学大学院<sup>2</sup>)

キーワード：ストレスマネジメント教育、養護教諭、小学校体育科保健領域



### 問題

東日本大震災被災地では、児童生徒の問題行動件数が増加している(宮城県教育委員会、2015)。  
被災地においては、一定の時を経て、不安障害や適応障害などの心理的問題が生じる可能性が指摘されている(竹中、1997)。  
被災地でストレスマネジメントの手法(理解、気づき、対処、活用)を教えることの意義は大きい。  
事情に応じたパッケージの作成が求められている(嶋田、1998)。

### 目的

【研究1】長期的な心のケアが求められている東日本大震災被災地である宮城県において、小学校5年生を対象に保健領域「心の健康」分野で、養護教諭が関わる保健教育の視点を取り入れたストレスマネジメント教育プログラムを作成し、その効果を検証する。  
【研究2】年間計画に位置づけられている2月中旬に行い、学級編成等ともなう新年度への環境移行後の適応効果も併せて検証する。

### 方法

- 1 対象者：東日本大震災被災地宮城県小学校に在籍する5年生3学級(実践群40名(男子22名、女子18名)、統制群37名(男子19名、女子18名))
- 2 実施時期：2016年2月初旬～4月下旬
- 3 手続き：研究デザイン(図1)、授業内容(表1)

セッション	ゲーム
(保障) 生活習慣の改善(心と体のつながり理解)	
セッション①(非主観)	
セッション②(主観)	
セッション③(主観)	
セッション④(主観)	
セッション⑤(主観)	
セッション⑥(主観)	
セッション⑦(主観)	
セッション⑧(主観)	
セッション⑨(主観)	
セッション⑩(主観)	
セッション⑪(主観)	
セッション⑫(主観)	
セッション⑬(主観)	
セッション⑭(主観)	
セッション⑮(主観)	
セッション⑯(主観)	
セッション⑰(主観)	
セッション⑱(主観)	
セッション⑲(主観)	
セッション⑳(主観)	
セッション㉑(主観)	
セッション㉒(主観)	
セッション㉓(主観)	
セッション㉔(主観)	
セッション㉕(主観)	
セッション㉖(主観)	
セッション㉗(主観)	
セッション㉘(主観)	
セッション㉙(主観)	
セッション㉚(主観)	
セッション㉛(主観)	
セッション㉜(主観)	
セッション㉝(主観)	
セッション㉞(主観)	
セッション㉟(主観)	
セッション㊱(主観)	
セッション㊲(主観)	
セッション㊳(主観)	
セッション㊴(主観)	
セッション㊵(主観)	
セッション㊶(主観)	
セッション㊷(主観)	
セッション㊸(主観)	
セッション㊹(主観)	
セッション㊺(主観)	
セッション㊻(主観)	
セッション㊼(主観)	
セッション㊽(主観)	
セッション㊾(主観)	
セッション㊿(主観)	

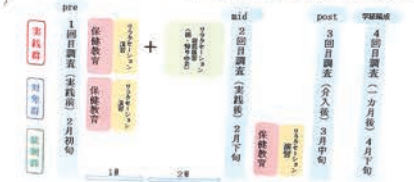


Fig.1 研究デザイン

ストレス反応②(永浦・山口・富永、2014)；②ストレス対処③(富永・富永、2009)；③心身相関、④あなたの言い方(佐々木、2015)；⑤生理指標：①血圧、②心拍数、③皮膚温度、④授業理解度、⑤リラクゼーション実施頻度、⑥プロ

### 結果

本研究では研究1を中心に報告する。  
各下位尺度得点を従属変数とし、時期(3)と群(3)を独立変数とする二要因分散分析を行った。その結果、ストレス反応「生活不調」において交互作用が認められた( $F_{(1,120)}=3.33, p<.05, \eta^2=.03, p<.05$ )。そこで、単純主効果検定および多重比較を行った。その結果、「生活不調」において、実践群においてpre>mid, postが認められ、preおよびmidにおいて実践群>対象群が認められた(図2)。「悲しみ」については、実践群においてpre, mid>post, 統制群においてmid>postが認められた(図3)。

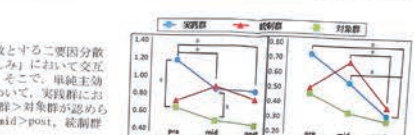


Fig.2 生活不調

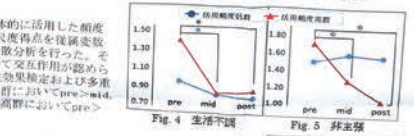


Fig.3 悲しみ

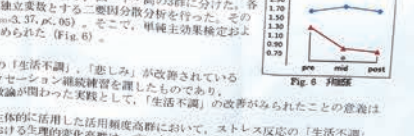


Fig.4 生活不調



Fig.5 非主観

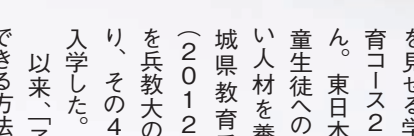


Fig.6 生理指標

### 2 実践群内の差異の検討

#### (1) 活用頻度による差異の検討

朝・帰りの会でのリラクゼーション練習以外で、児童が主体的に活用した頻度を平均値±1/2SDにより、低・中・高の3群に分けた。各下位尺度得点を従属変数とし、時期(3)と群(3)を独立変数とする二要因分散分析を行った。その結果、ストレス反応「生活不調」において交互作用が認められた( $F_{(1,120)}=3.71, p<.05, \eta^2=.03, p<.05$ )。そこで、単純主効果検定および多重比較を行った。その結果、「生活不調」において、活用頻度高群においてpre>mid, postが認められた(図4)。「非主観」については、活用頻度高群においてpre>mid, postが認められた(図5)。

#### (2) 体験における生理的変化による差異の検討

第1回授業における呼吸器活動時の心拍数の変化量を平均値±1/2SDにより、低・中・高の3群に分けた。各下位尺度得点を従属変数とし、時期(3)と群(3)を独立変数とする二要因分散分析を行った。その結果、「非主観」において交互作用が認められた( $F_{(1,120)}=3.37, p<.05, \eta^2=.03, p<.05$ )。そこで、単純主効果検定および多重比較を行った。その結果、高群においてpre>postが認められた(図6)。

### 考察

期間の差異を検討した結果、実践群においてストレス反応の「生活不調」、「悲しみ」が改善されていることが度えた。実践群は保健教育授業に加え、2週間のリラクゼーション継続練習を行ったこと、その継続練習が効果の高いためにと推察できる。養護教諭が関わった実践として、「生活不調」の改善がみられたことの意味は大きいと考えられる。

効果が認められた実践群の差異を検討した結果、児童が主体的に活用した活用頻度高群において、ストレス反応の「生活不調」において、「非主観」が有意に改善されていた。また、体験における生理的変化高群は、言い方の「非主観」が有意に改善していた。効果を高める要因であると推察できる。また、生理指標(心拍数)に大きな変化がみられるような体験を提供することが好ましい変化をもたらすことが示唆された。

期間の差異を検討した結果、実践群においてストレス反応の「生活不調」、「悲しみ」が改善されていることが度えた。実践群は保健教育授業に加え、2週間のリラクゼーション継続練習を行ったこと、その継続練習が効果の高いためにと推察できる。養護教諭が関わった実践として、「生活不調」の改善がみられたことの意味は大きいと考えられる。

効果が認められた実践群の差異を検討した結果、児童が主体的に活用した活用頻度高群において、ストレス反応の「生活不調」において、「非主観」が有意に改善されていた。また、体験における生理的変化高群は、言い方の「非主観」が有意に改善していた。効果を高める要因であると推察できる。また、生理指標(心拍数)に大きな変化がみられるような体験を提供することが好ましい変化をもたらすことが示唆された。

期間の差異を検討した結果、実践群においてストレス反応の「生活不調」、「悲しみ」が改善されていることが度えた。実践群は保健教育授業に加え、2週間のリラクゼーション継続練習を行ったこと、その継続練習が効果の高いためにと推察できる。養護教諭が関わった実践として、「生活不調」の改善がみられたことの意味は大きいと考えられる。

効果が認められた実践群の差異を検討した結果、児童が主体的に活用した活用頻度高群において、ストレス反応の「生活不調」において、「非主観」が有意に改善されていた。また、体験における生理的変化高群は、言い方の「非主観」が有意に改善していた。効果を高める要因であると推察できる。また、生理指標(心拍数)に大きな変化がみられるような体験を提供することが好ましい変化をもたらすことが示唆された。

期間の差異を検討した結果、実践群においてストレス反応の「生活不調」、「悲しみ」が改善されていることが度えた。実践群は保健教育授業に加え、2週間のリラクゼーション継続練習を行ったこと、その継続練習が効果の高いためにと推察できる。養護教諭が関わった実践として、「生活不調」の改善がみられたことの意味は大きいと考えられる。

効果が認められた実践群の差異を検討した結果、児童が主体的に活用した活用頻度高群において、ストレス反応の「生活不調」において、「非主観」が有意に改善されていた。また、体験における生理的変化高群は、言い方の「非主観」が有意に改善していた。効果を高める要因であると推察できる。また、生理指標(心拍数)に大きな変化がみられるような体験を提供することが好ましい変化をもたらすことが示唆された。

期間の差異を検討した結果、実践群においてストレス反応の「生活不調」、「悲しみ」が改善されていることが度えた。実践群は保健教育授業に加え、2週間のリラクゼーション継続練習を行ったこと、その継続練習が効果の高いためにと推察できる。養護教諭が関わった実践として、「生活不調」の改善がみられたことの意味は大きいと考えられる。

効果が認められた実践群の差異を検討した結果、児童が主体的に活用した活用頻度高群において、ストレス反応の「生活不調」において、「非主観」が有意に改善されていた。また、体験における生理的変化高群は、言い方の「非主観」が有意に改善していた。効果を高める要因であると推察できる。また、生理指標(心拍数)に大きな変化がみられるような体験を提供することが好ましい変化をもたらすことが示唆された。

ここで学び  
研究した成果を  
宮城に戻って  
実践します

キラリな人

佐々木かよ子さん  
修士課程  
学校心理・発達健康教育コース2年  
昭和54(1979)年、宮城県生まれ。宮城学院女子大学を卒業後、養護教諭として宮城県内の小・中・高校で勤務。気仙沼市内の小学校に在任中に東日本大震災を経験し、児童らの心のケアに尽力した。平成27(2015)年に兵教大に入学し、28年7月には日本ストレスマネジメント学会第15回学術大会でポスター発表奨励賞を受賞した。



学会での受賞後、指導教員の藤原忠雄教授と

無事に修士論文を提出し  
終え、晴れやかな笑顔  
を見せる学校心理発達健康教  
育コース2年の佐々木かよ子さ  
ん。東日本大震災で傷ついた児  
童生徒への心のケア対応力の高  
い人材を養成するために、宮  
城県教育委員会では平成24  
(2012)年度から養護教諭  
を兵教大の大学院に派遣して  
おり、その4期生として27年春に  
入学した。

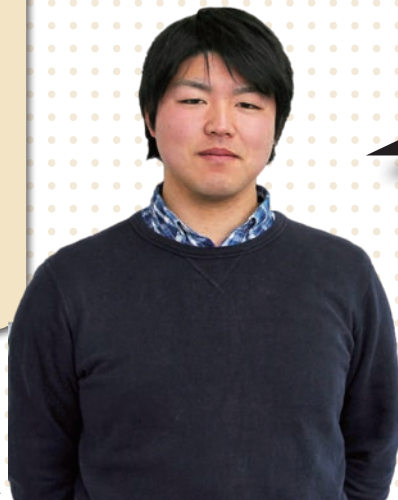
以来、「子どもたちを手助け  
できる方法を論理的に学習した  
い」と意欲的に学びを深め、スト  
レスマネジメント教育をテーマに  
研究を重ねた。心身の変化に気  
付くための方法やリラクゼーシ  
ョン法など、現職の立場からスト  
レスの低減や解消のために子ども  
たちに身に付けてもらいたい要  
素を組み合わせて教育プログラ  
ムを考案し、効果を検証。途中  
経過は一枚のポスターにまとめ  
て日本ストレスマネジメント学会  
第15回学術大会で発表し、奨励  
賞を受賞した。「これまでの努力  
が報われたようで本当にうれし  
かった」と喜びを語る。  
教育プログラムで「こだわったの  
は、子どもたちにより伝わりやす  
いように養護教諭が学級担任と  
一緒に授業を展開する形式にす  
ること、教育課程に沿った実  
践的な内容にすること。小学5  
年生の体育科(保健)の単元「心  
の健康」での授業を想定し、指  
導案では両教員の役割を明確に  
した。そして、宮城県内の所属  
先の小学校に戻って実際に3ク  
ラスで授業を行った。

この3月に修了後は、再び現  
場へと戻る予定だ。「講義で学ん  
だことや研究の成果を、養護教  
諭部会で広めたり、職務の中で  
生かしたりしながら還元してい  
きたいです」と決意を語る。

# データで見る兵教生

～平成25～27年度ボランティアステーション学生活動実績データから検証～

## 兵教生とボランティア活動



粘り強く関わることの  
大切さを学びました

4年間の活動を通してさまざまな子どもたちと出会い、関わり方にたくさん悩みました。しかし、粘り強く関わり続けると子どもたちは必ず応えてくれ、そのことが何よりうれしかったです。また、活動先のスタッフの方々や共に活動する仲間の支えも大きく、人と人のつながりの温かさも学びました。これらの経験を大切に、春から先生として頑張ります。一人の人間として、子どもや保護者と粘り強く関わり、つながっていく、そんな先生を目指します！

### 活動の多くは教育関連 学生自身が成長する機会にも

平成25(2013)年4月にオープンしたボランティアステーションの登録者数はこの3年間で2・4倍に活動派遣実績もほぼ3倍に増えている。兵教生に求められる活動内容は、不登校の児童生徒への支援や生涯学習、福祉活動など、やはり教育に関連したものが多し。参加した学生たちは、多くの子どもや人々と接することで着実に成長するとともに「学び続ける教員」の素地をつくっているようだ。

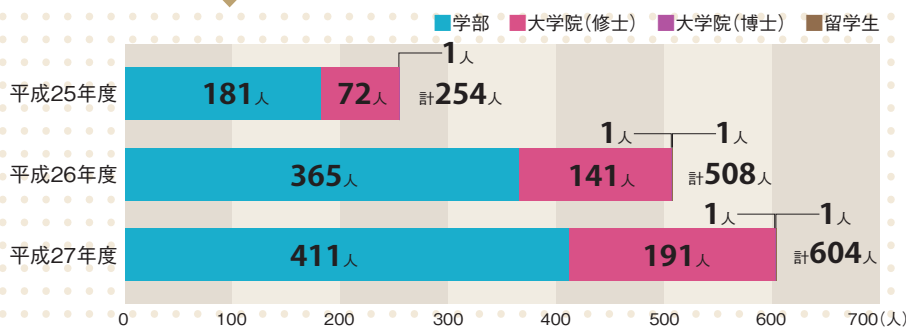
兵庫教育大学におけるボランティア活動は「教員としての人づくり」の場の一つであるとともに、学生と地域を、理論と実践を、自分と未来を「つなぐ」活動となっている。

## HYOKYO'S DATA

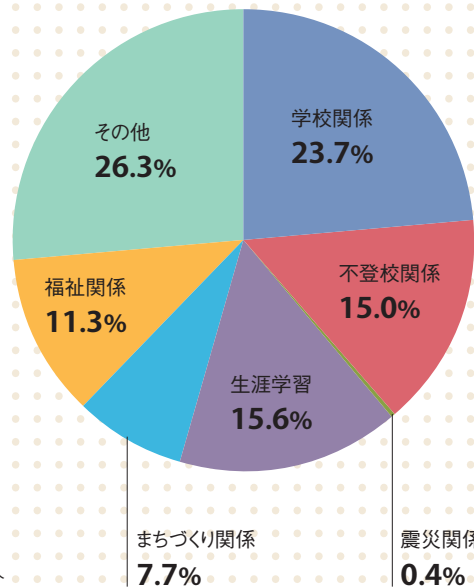
ふじなみ こうだい  
**藤浪航大さん**

学校教育学部社会系コース4年

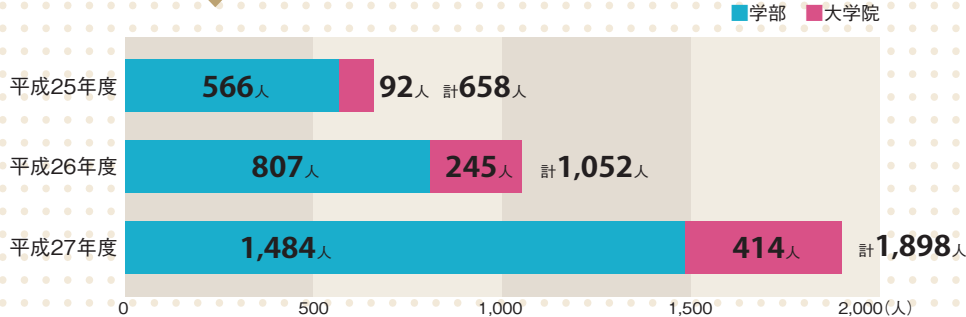
### ボランティアステーション登録者数データ



### 学生ボランティア派遣内訳(平成27年度)



### ボランティアステーション学生派遣推移(延べ人数)



いたくら かな  
**板倉加菜さん**

学校教育学部  
学校心理系コース2年  
ボランティアステーション  
学生スタッフ委員長

ボランティアステーションや先輩の紹介などで活動に参加していくうちに、ボランティアの楽しさに気付きました。いろいろな経験ができ、子どもや人との関わりの中で学ぶことはたくさんあります。時には悩むこともありますが、ボランティアステーションが支えになっていますし、相談に乗ってくれる仲間や先輩、応援・協力してくれる人たちののおかげで頑張ることができます。これからも活動を通じていろいろなつながりを持ちながら成長していきたいです。

楽しく活動しながら  
多くのことを  
学んでいます



## ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、  
行きつけのスポットや思い出の一冊。  
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。



「ビリギャル」  
DVD ¥3,800(税抜)  
※平成29(2017)年2月現在  
発売元/TBS 販売元/東宝  
©2015映画「ビリギャル」製作委員会



みや きた まこと  
**宮北 誠**さん  
学校教育学部  
言語系コース4年

### 主人公の夢をかなえた教育メソッドに注目

MOVIE

**学** 年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話。主人公さやかちゃん、彼女の可能性を信じる塾長と共に夢をかなえるストーリーです。私は普段映画を見て泣くタイプではありませんが、この作品を見て涙が止まりませんでした。生徒の可能性を信じてこの大切さを感じさせられたからです。高2まで全く勉強しなかった主人公の学力をどうやって伸ばしたのか、動機付けの手法など塾長の教育法にも注目なので、教育に携わる方には特に薦めます。笑いあり、涙ありのこの作品を、ぜひご覧ください。

### 頑張ろうという気持ちをくれます

GLAYといえば格好いい曲ばかりですよ。この曲も曲名の通り格好よくて、とても爽やかです。歌詞に「空が青空である限り 夜を越えまた駆け抜けろ」というフレーズがあり、今はしんどくても自分の目標や夢を達成したりかなえたりするために頑張ろうという気持ちになります。皆さんも、試験や試合前などに聴くとテンションが上がって「頑張るぞー！」と自分を待つフィールドへ飛び出したくなると思います。ぜひ聴いてみてください！

MUSIC



まつ もと か ほ  
**松本 香穂**さん  
学校教育学部  
言語系コース4年



GLAY  
「G4-IV」  
発売元/LSG



ピンクハウス  
加東市藤田307 ☎0795-42-6776  
9:00~22:00 日曜休



ズーター・  
**アリックス・  
ゾフィー**さん  
(スイス)  
特別聴講学生

SPOT

### 音楽も楽しめるカフェ・レストラン

**私** のイチオシは、建物がピンク色のカフェ・レストラン「ピンクハウス」です。料理、ケーキ、飲み物はバラエティーに富んでいて、手頃なお値段。それに、アーティストやバンドによるコンサートも定期的に開かれます。世界の音楽、ジャズ、四季折々のプログラムは楽しく、素晴らしい音楽の夕べを提供してくれます。いつでも誰でも受け入れてくれるような、親しみのある雰囲気です。ご主人と奥さまはいつも親切で、私はここで友人とすてきな時間を過ごしています。

### 私の「バイブル」となっている一冊

**人** の心などわかるはずが創造性を持つている」まで55章にわたり、河合隼雄先生の言葉が、心の処方箋としてつづられています。時には「それでもいいんだよ」と寄り添ってくれているかのように温かく包み込んでくれ、時にはこれまでの営みを根底から崩してしまっほどこりティカルに指摘してくれます。しかし、その全てに優しさを感ずることが出来ます。子どもや保護者の心に寄り添い支える教員という職に就く者として、また一人の親としても、常に心に留めておきたいことが詰まった一冊です。

BOOK



たに ぐち ゆう いち  
**谷口 雄一**さん  
専門職学位課程  
生徒指導実践開発コース1年



河合隼雄  
「こころの処方箋」  
新潮文庫

## URESHINO BULLETIN BOARD

### 第35回 兵庫教育大学大学祭「嬉望祭」

11月12日・13日 加東キャンパス

全員が主体性を持ち、協力し合い一つの大作をつくって  
いこうという意味を込め、「つみぎ〜Makeittogether〜」  
をテーマに開催。2日も晴天に恵まれ、模擬店、芸能イ  
ベント、附属幼稚園コンサート、バンド演奏、クラブ活動発  
表などさまざまな催しが行われ、多くの人が来場しました。



↑模擬店の様子



↑茶道部のお茶会



↑チアリーディング部による演技

### 教材文化資料館 平成28年度後期展 「夢と青春の修学旅行」 好評開催中

皆さまを、楽しい「夢と青春の修学旅行」の世界にご案内中です!



↑各地の名所をイラストにした顔出し看板

📅 2月28日🕒まで8:30~22:00(土曜・日曜・祝休日  
10:00~17:00)

📍教材文化資料館(附属図書館内)

📅 2月25日📅、26日📅

☎教材文化資料館 ☎ 0795・44・2362

### 第6回神戸マラソンに 学部生がボランティアとして参加

11月20日 神戸市内

授業科目「社会ボランティア体験学習」の履修者やボ  
ランティアステーションを通じて集まった学部生37人  
が、森田啓之准教授引率の下、「ランナーサポート」と  
して沿道で応援。約5時間にわたり、担当ブロックを通  
過する約2万人のランナーたちを元気づけました。



### 特別支援教育担当指導主事 アドバンスセミナー 「発達障害支援&インクルーシブ教育の 地域デザインと人づくり」

11月26日 兵教ホール

全国から35人の指導主事が参加。英国ザ・パークス  
スクールの共同校長で教育学博士のポール・ウォルシュ  
さんによる特別講演のほか、「特別支援教育アドバン  
スリーダー(地域リーダー)」の育成や新しい研修手法・  
プログラムが紹介され、充実した研修会となりました。



### 平成28年度教員の資質向上のための 研修プログラム開発事業 シンポジウム 「指導主事の力量形成と資質向上 —子供の成長と学力向上のために—」

12月3日 教育子午線ホール

明石市教育委員会との連携・協働により取り組んでいる、  
指導主事の力量形成と資質の向上を図る汎用性の高い  
研修プログラム開発事業の成果発表を目的に開催。約60  
人の参加者たちは、教員研修センター事業部長の古川聖  
登さんによる基調講演などに熱心に耳を傾けていました。



### 第1回学長とマスコミ関係 有識者懇談会を開催

1月6日 兵教ホール

マスコミ関係有識者に対し、兵教大の教員養成・研修  
の在り方、社会貢献の方策等について、メディアの視  
点からの意見等を聴くことを目的に開催。福田光完学  
長からの取り組み説明に対し、活発なご意見や質問を  
いただき、有意義な会となりました。



### 猪名川町教育委員会英語指導力向上自主講座 「IES!〜いなぼう・ イングリッシュ・サロン〜」を支援

1月12日・19日、2月9日 猪名川町役場

学習指導要領改訂に伴う小学校英語のさらなる充実  
化に向けた研修のうち、英語運用能力の向上を目的と  
した講座をグローバル化推進教育リーダーコースが担  
当。聞き取りや「英語らしく発音」するためのアドバイ  
スなど実践的な内容に、参加者からは「有意義だった」  
と好評でした。



### 平成28年度新構想3教育大学シンポジウム 「現代的教育課題と大学における 現職教員の再教育」

1月22日 兵教ホール

現職教員の再教育の場として設置された上越、兵  
庫、鳴門の3教育大学が、新構想大学設置の意義や  
学校教育で果たすべき役割を見いだすことを目的に  
開催。文部科学省の柳澤好治教員養成企画室長に  
よる基調講演やパネルディスカッションが行われ、活  
発に意見交換などが行われました。





現場の課題にお答えします!

総務省統計局主催  
「STAT DASH グランプリ2016」で  
総務大臣賞を受賞

修士課程生活・健康・情報系教育コース1年の福井昌則さん(写真左)がコーチとして指導に当たった関西学院高等部数理科学部が、行政サービス開拓部門で受賞。政府統計ポータルサイト「e-Stat」を小中学生も活用できるように提案したもので、福井さんは「高校生の独創性が評価されてうれしい」と喜びを語った。



第20回日本学校メンタルヘルス  
学会大会のポスター発表で表彰

修士課程学校心理・発達健康教育コース2年でモンゴルからの留学生のバヤルフウ・バヤンジャルガルさんと藤原忠雄教授のポスター発表「モンゴルの中学校におけるいじめに関する研究」が、特に優秀な発表として表彰された。バヤルフウさんは「これを一つのステップとして、さらに研究を深めたい」と受賞の喜びを述べた。



キャンパストピックス

小川修史准教授に  
ハノイ教育大学から感謝状を贈呈

6月、小川修史准教授にベトナムのハノイ教育大学から感謝状が贈呈された。これは、同大学での特別支援教育プログラムの構築・開発に貢献したことに対するもの。小川准教授は「これまでの活動が評価されてうれしい。今後もベトナムでの特別支援教育の発展に寄与していきたい」と意欲を新たにしている。



たなかまさかず

田中雅和

言語系教育コース教授

文化庁・文化審議会の  
「常用漢字表の字体・字形に関する指針」報告書により、  
学校現場での漢字に関する指導や正誤(○×)の評価基準は  
どのように変わったのでしょうか。

指導や評価などの基準は、常用漢字表の改訂前から、何も変わっていません。手書き文字において、点画の長短や方向等の細かい違いは必ずしも問題ではないことが学校現場などで不徹底であったために、文化審議会があらためて指針をまとめて周知を図ったものです。

内にあるデザイン上の差異で、正誤の対象にはなりません。印刷文字を設計する上の表現差に過ぎないからです。しかし、「土・土」の横画の長短、「大・太・犬」の点の有無や位置などは、漢字字種の違い(示差性)や区別(弁別性)に関わっているもので、どうでも良いという訳にはいきません。

学習指導要領解説でも、漢字指導には標準の字体を用いることを示し、「標準とは字体に対する一つの手掛かりを示すものであり、これ以外を誤りとするものではない」と明示しています。指導と習得に際して、基礎・基本として印刷文字のよう

な標準の字形を大事にすることは良いのですが、それが唯一正しいとの思い込みは間違いです。手書き文字には多様な書き方があるので、字体が合っていれば、細かな字形の違いは柔軟に評価すべきなのです。つまり、点画の長短・方向やとめ・はね・は

らい等が、漢字の示差性・弁別性に関わっているか否かが正誤の評価基準になるという事です。教育に関わる者は、子どもを漢字嫌いにしないためにも、常用漢字表の「付」字体についての解説」を確認し、しっかり理解しておく必要があります。

指針で示された字形の例

常用漢字表	手書き文字の字形の例 (いずれも正しい)	
木	木 木	など とめる・はねる
天	天 天 天	など 横画の長短、はらう・とめる
言	言 言 言	など はなす・つける、点画の方向
右	右 右	など つける・はなす
保	保 保	など とめる・はねる、つける・はなす
嗅	嗅 嗅	など 点なし・点あり
女	女 女	など 交わる・交わらない
令	令 令 令	など 方向の違い、点か画か

## 兵庫教育大学からのお知らせ

☎=申し込み先 ☎=問い合わせ先

### 平成29年度大学院学校教育研究科説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談や修士・在学生の体験談の時間も設けます。

日程	時間	会場
4月29日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス
5月13日(土)	10:30~15:40	加東キャンパス
5月20日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス
5月27日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス
6月10日(土)	13:30~15:30	梅田スカイビル(大阪市北区)
6月24日(土)	13:30~15:10	AP品川アネックス(東京都港区)
7月8日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス
9月9日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス
9月16日(土)	13:30~15:10	AP品川アネックス(東京都港区)
9月23日(土)	13:30~15:10	福岡朝日ビル(福岡市博多区)
9月29日(金)	19:00~21:00	神戸ハーバーランドキャンパス
10月7日(土)	10:30~15:40	加東キャンパス
12月23日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス
1月6日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス
1月20日(土)	13:30~15:30	神戸ハーバーランドキャンパス

※加東キャンパスのみ、午前中に学内施設の見学を実施します

☎☎ 大学院入学相談室

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2011 ☎ office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp



### 大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学希望者を対象に電話、ファクス、メールで相談を受け付けます。

※平日のみ

☎☎ 大学院入学相談室

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2011

☎ office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp

### 2017兵庫教育大学美術展

学部生や大学院生、附属幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒らによる合同作品展。卒業制作も展示。入場無料。3月5日⑧14:00からはギャラリートークも。

◎日時 3月3日⑨~8日⑩

10:00~18:00

(最終日は16:00まで)

### ◎大学の風景

「教育最前線」に本学卒業生の秋光恵子教授のゼミ風景を紹介しました。ゼミでは世代やジェンダーを超えて共に学び、より良い学級の在り方について研究を行っています。



◎場所 サンバルギャラリー

(神戸市中央区)

◎芸術系コース美術分野(初田)

☎☎ 0795-44-2252

☎ hatsuda@hyogo-u.ac.jp



### スクール・パートナーシップ事業

学校教員の資質向上のための研修会や地域の生涯学習活動等の場に大学教員を派遣します。学校や研究グループで研修などの計画を立てる際は、ぜひ相談してください。

#### 〈派遣依頼の方法〉

①兵庫教育大学ホームページに記載している

「講師派遣事業(スクール・パートナーシップ事業)」から各教員の題目を確認

②希望する内容が見つければ担当教員と直接連絡を取り、日程や内容などを調整

③大学に「派遣依頼書」を送付

☎ 社会連携センター

☎☎ 0795-44-2053, 2409

☎ office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

### 平成29年度前期展

#### 「共に学ぶ —インクルーシブ教育—(仮)」

インクルーシブ教育をテーマに開催します。教育現場での取り組みや、本学の「特別支援教育モデル研究開発室」の紹介などを展示。ICTの有効な活用法やさまざまな教材を紹介するコーナーも設けます。

◎開催期間 4月3日⑧~8月31日⑩

◎場所 教材文化資料館(附属図書館内)

◎開館時間 平日8:30~22:00

土・日・祝休日10:00~17:00

※附属図書館の開館時間に準じます

☎教材文化資料館

☎☎ 0795-44-2362

### 吹奏楽部第33回定期演奏会

吹奏楽部が日頃の練習の成果を披露。クラシックからステージドリルまで楽しい企画が盛りだくさん。ぜひご来場ください。入場無料。



◎日時 3月4日⑩13:30~(開場13:00)

◎場所 三木市文化会館

☎ 学生支援課

☎☎ 0795-44-2050 ☎☎ 0795-44-2049

### 全国トップクラスの教員就職率 “教員就職に強い兵教大”の伝統は今年も健在

文部科学省が1月31日に発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の平成28年3月卒業者の就職状況等について」において、兵教大の教員就職率は全国44大学中3位となりました。教員就職者に保育士就職者を加えた就職率は87.8%、公務員や民間企業等を含めた全体の就職率は97.4%となります。兵教大では以下の取り組みを通して、学生の就職活動をバックアップしていきます。

▶4年間同一のクラス担当教員とゼミ指導教員による個別支援

▶3年次の合宿研修

▶新任教員(本学卒業生)による体験談、意見交換

▶外部講師等による筆記試験対策講座

▶キャリア開発指導員(元公立学校長)による個別の就職相談

▶教採合格者による説明会(模擬面接、模擬授業、報告会など)

▶現職教員の大学院生による講座

### ▶▶編集後記

★男女雇用機会均等法施行と同時にこの大学で働きだしました。育児休業の制度など女性が働きやすい環境が少しずつ整えられていくのを見つめながら今日に至ります。今号は全体的に「教育最前線」の特集「兵教大の女子力」のテーマでそろえてみました。「男女が共に学び、働き、輝く」ことを考える一冊になりましたら幸いです。(な)

※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページをご覧ください

### ◎あなたの声を聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりを目指しています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方にオリジナルのボールペンまたは付箋紙を進呈します。

【あて先】

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学大学広報室

☎☎ 0795-44-2431 ☎☎ 0795-44-2009

☎ office-koho@hyogo-u.ac.jp



兵庫教育大学モバイルサイト



スマートフォン



携帯電話